

# 旧北国街道高売屋地図

昭和40年頃のいずみ界隈



旧北国街道いずみ界隈を考える会

## 地図の作製にあたって

いずみ界隈の旧北国街道は古くは北陸道（ほくろくどう）と呼ばれ、日本海側の主要道路でありました。京都、大阪方面に通じる主要街道で藩の役人や多くの旅人が利用したと国造神社前の石碑に記されています。昭和7年に（1932）南端国道が開通したことから、旧街道になりました。

しかし、多くの商売屋は近隣住民や近郊農家の利便に供する買い物先として栄えていましたが、昭和40年代（1965）になってから、郊外各地に大型店が立地することになり、徐々に商業形態に変化が生じ、いずみ界隈の商業に陰りが見え、現在の状況になっています。

当時のことを知らない世代の人たちに約50年前には多くの商売屋さんがあったことを知ってもらい、当時の面影が感じられればと思い作製に至りました。

なお、この地図の範囲は現在の「泉二丁目交差点から有松二丁目交差点」までの約950mを対象としています。

そして、この冊子に使っている地図は平成26年の航空写真を基本にしたもので当時の地形、地物と変わっているところがあります。

また、記載した店名は周辺の方々の記憶をもとに、当時に呼ばれていた屋号等と住宅明細図に基づいて作製したものであり、位置、年代等に多少の誤差があることをご了承ください。

会 長 松 下 良



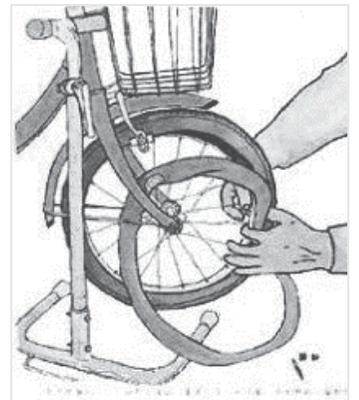
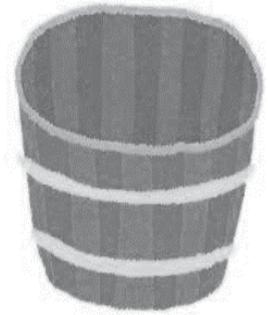
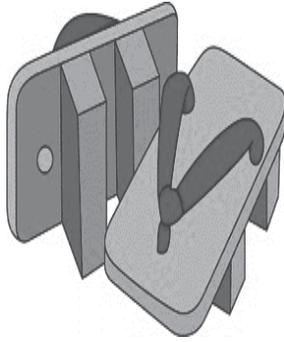
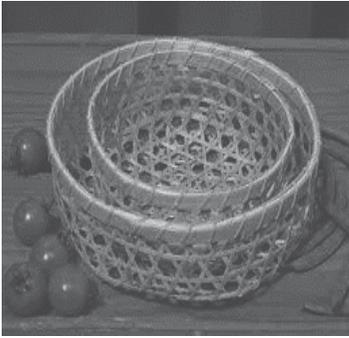
！復活・泉獅子舞！の先導の！弥彦婆！（平成29年9月23日）

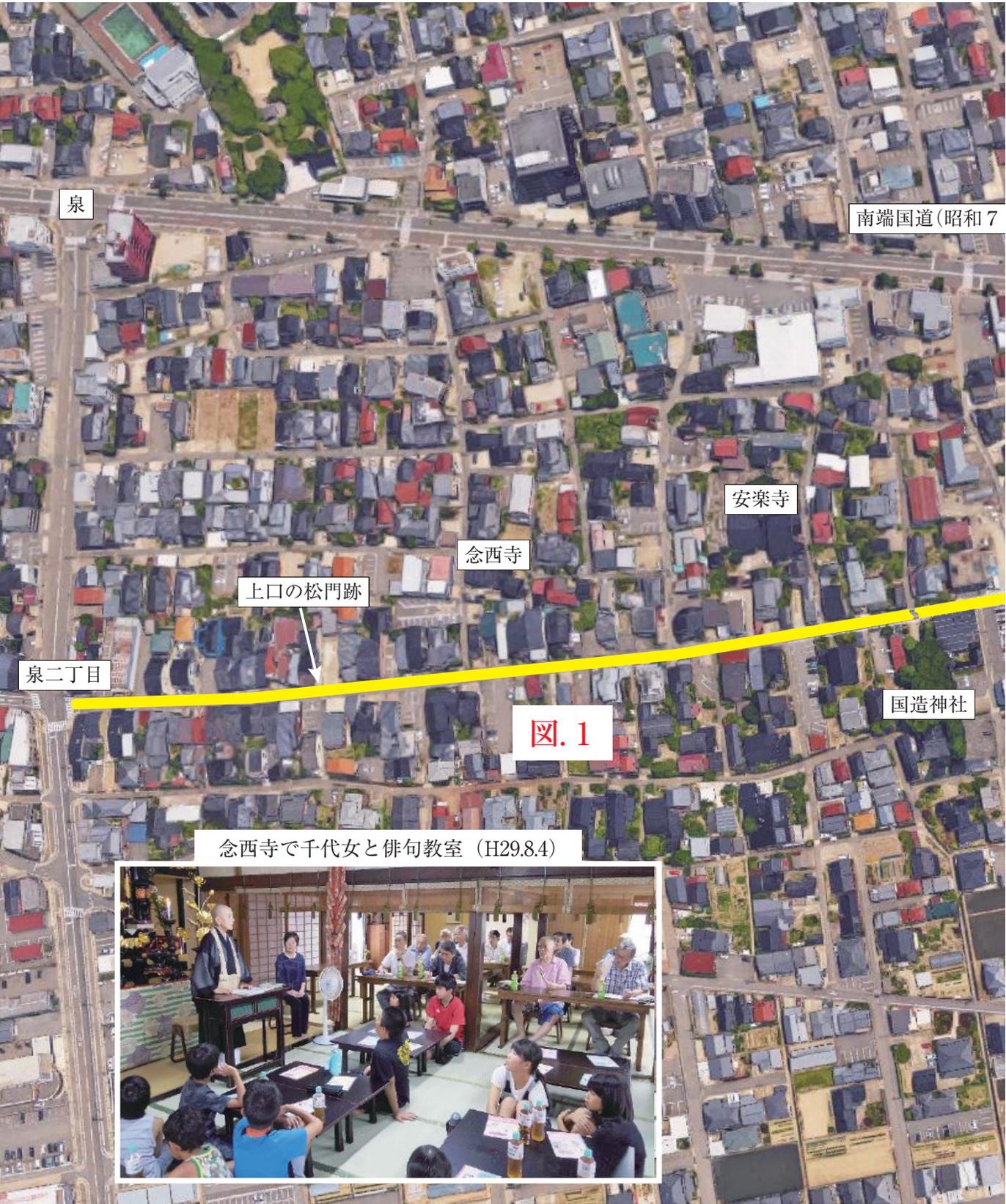
平成29年度

—協働のまちづくり—  
—チャレンジ事業—  
(金沢市委託事業)

(旧) 泉町～ (旧) 泉新町～ (旧) 有松町にかけての

旧北国街道沿いには多くの生業がありました





# の航空写真

住居表示による町名変更（昭和42年9月1日）

（旧）泉町 ⇒ 泉1丁目、2丁目になる

（旧）泉新町 ⇒ 泉2丁目、3丁目になる

（旧）有松町北側⇒ 泉3丁目になる

（旧）有松町南側⇒ 有松2丁目になる

年開通)

有松

図. 2

樹林地

図. 3

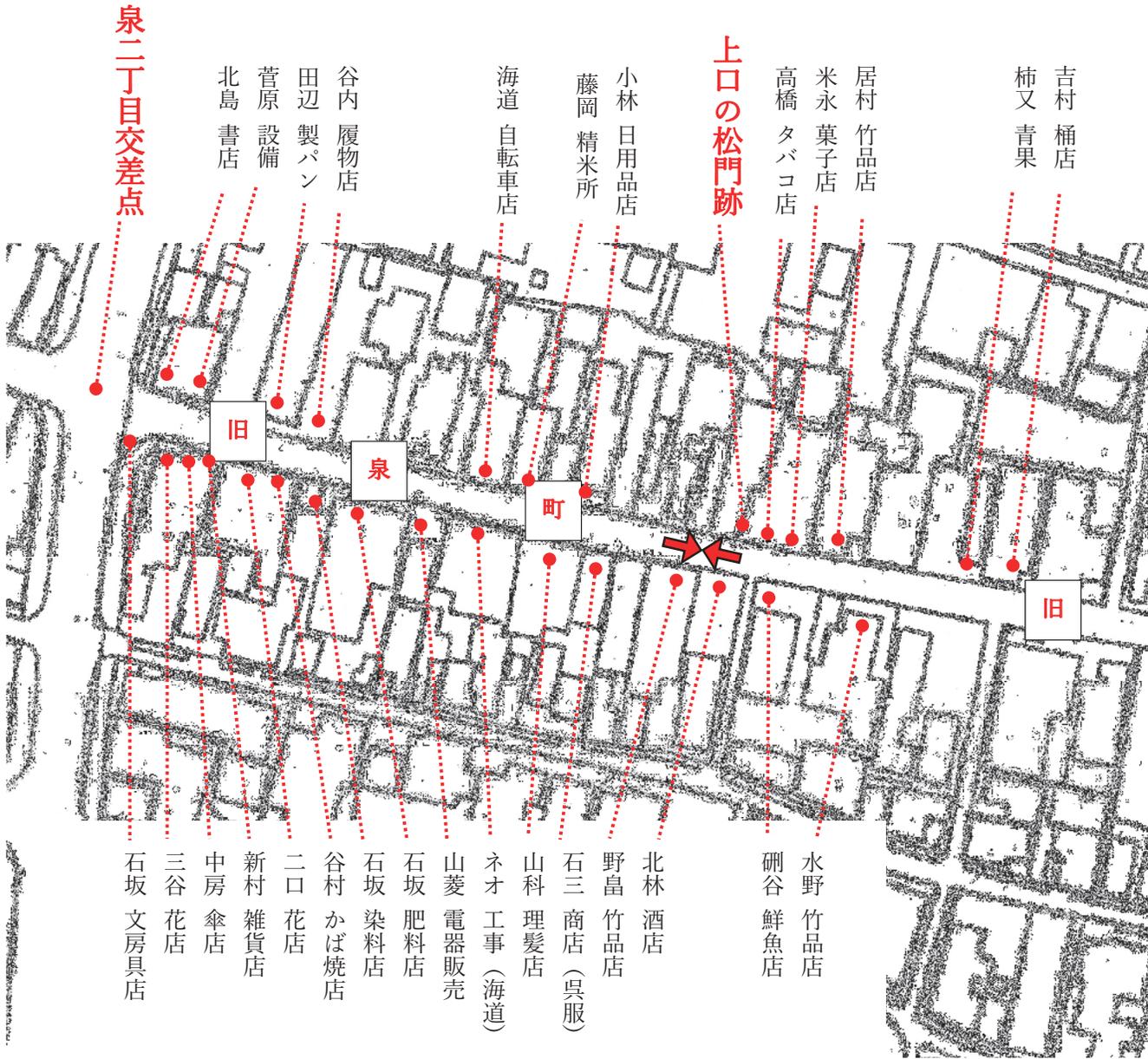
樹林地で野点の会（H29.10.28）



有松二丁目

Map data. © 2018 Google, ZENRIN

図.1 泉二丁目交差点～国造神社



「加能郷土辞彙」による町名の由来

**旧泉町** 野町の町端の末である。昔は野町から南方町端すべて泉新町と称する一町であったが、泉町・泉新町と分けたものである。



図.2 国造神社～旧泉新町曲り角



## 旧泉新町曲り角



### 旧泉新町

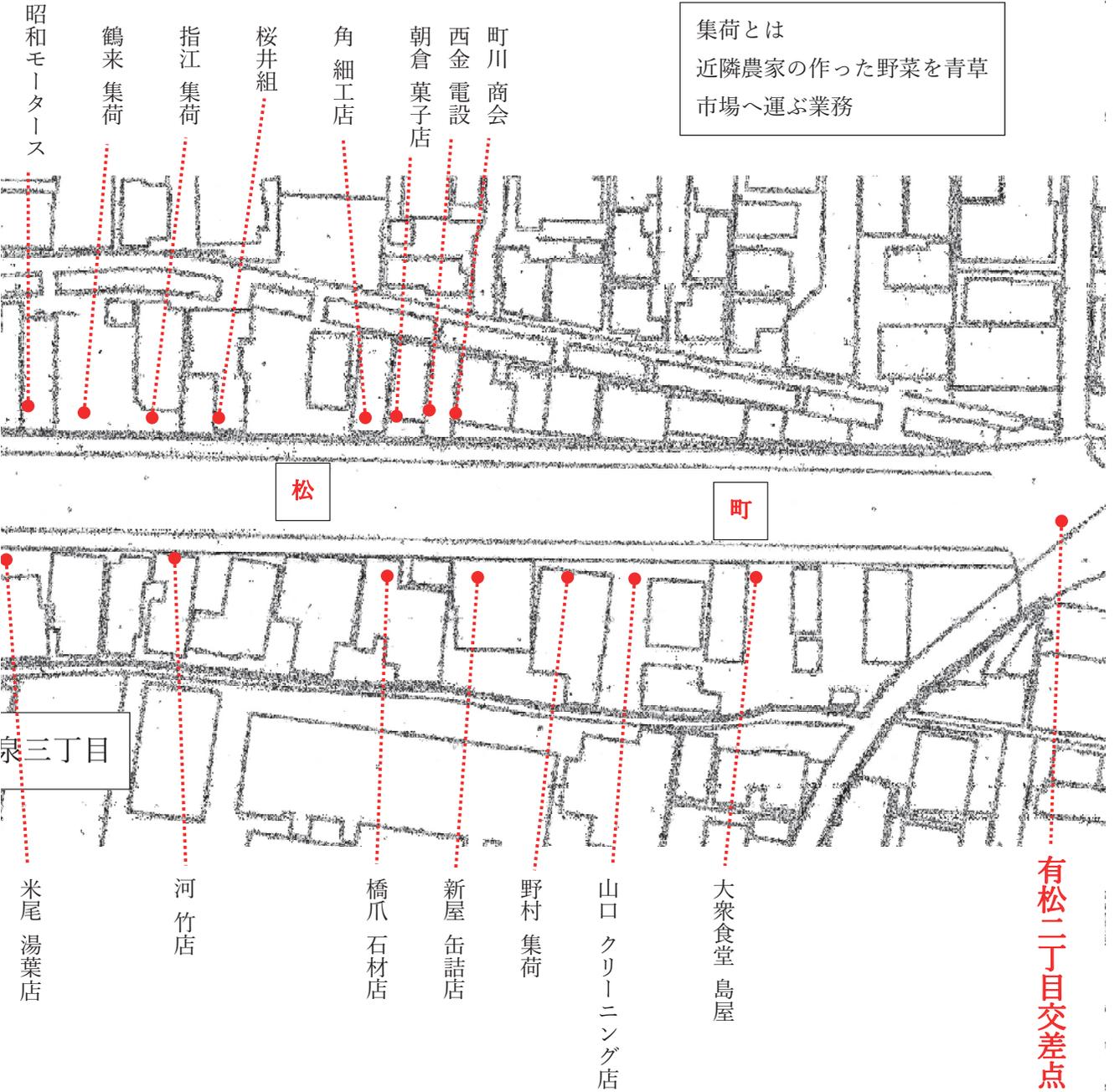
泉町から南方を言う。俗に新町とも出町とも称する。このあたりは延宝の頃（1673～）にはまだ家屋のない郡地であった。天保13年（1842）に金沢町奉行の支配下となり、住民は町民扱いとなる。その後、町家が増えた。

図.3 旧泉新町曲り角～有松二丁目交差点



**旧有松町** 泉新町の南で、もとは有松村の村地であったのを相対請地（農民の土地を町民に貸すこと）となし、町家を建てたに起こる。文政4年（1807）に金沢町奉行の支配地となった。

集荷とは  
近隣農家の作った野菜を青草市場へ運ぶ業務





### 上口の松門跡

城下の町地と郡方の境界を示すため、この道の両側に松樹が植えられ、上口の松門と呼ばれた。大名・藩士は、松門より城下に入る時は供連れの行列を立直し、出る時は行列を緩める惣門の役割をはたしていた。旅人を送る、迎えるもここが起点であったと記されている。

### 「旧北国街道商売屋地図」

発行／平成30年1月20日

編集／旧北国街道いずみ界隈を考える会

印刷／金沢市有松4丁目3番26号

ソノダ印刷(株)